

# I 県立病院事業

令和5年度上半期における県立病院事業は、県民の健康保持のため、その多様な要望に応える医療を提供するとともに、県内の医療水準の向上という目標に向け、県の基幹病院として、また、地域の中核病院として期待されている役割を果たすべく鋭意運営に努めてきました。

今回は、令和5年4月1日から令和5年9月30日までの令和5年度上半期における県立病院事業の概況、経理の状況及び令和4年度の決算の状況などについてお知らせします。

## 1 事業の概況

今期の県立病院の利用状況は第1表のとおりであり、前年度同期に比較すると、入院患者では5,827人の減、外来患者では7,561人の減となっています。

第1表 令和5年度上半期患者利用状況

(単位：人)

区 分	病 院 別				前年度 同 期	差引増減 (△)
	中央病院	丸亀病院	白鳥病院	計		
入院患者数	66,066	17,149	13,746	96,961	102,788	△5,827
外来患者数	114,400	14,757	32,703	161,860	169,421	△7,561
計	180,466	31,906	46,449	258,821	272,209	△13,388

## 2 経理の状況

令和5年度上半期における収入及び支出の状況は、第2表のとおりです。

第2表 令和5年度病院事業会計経理状況

収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	執 行 済 額 B	比率 B/A
収 入	病院事業収益	28,386,751	13,695,907	48.2
	医業収益	23,684,660	11,478,717	48.5
	医業外収益	4,692,182	2,215,866	47.2
	特別利益	9,909	1,324	13.4
支 出	病院事業費用	29,835,685	11,910,121	39.9
	医業費用	28,820,743	11,789,247	40.9
	医業外費用	993,861	118,502	11.9
	特別損失	21,081	2,372	11.3

区分	科 目	予 算 額 A	執 行 済 額 B	比 率 B/A
収 入	資 本 的 収 入	1,992,352	375,668	18.9
	企 業 債	1,048,000	0	0
	出 資 金	0	0	0
	他会計からの長期借入金	71,927	0	0
	固定資産売却代金	0	0	0
	補 助 金	121,090	0	0
	負 担 金	751,335	375,668	50.0
支 出	資 本 的 支 出	2,757,500	821,765	29.8
	建 設 改 良 費	1,248,605	77,403	6.2
	企 業 債 償 還 金	1,438,445	744,362	51.7
	他会計からの長期借入金返還金	70,450	0	0

### 3 令和4年度決算の状況

令和4年度における患者数は、入院患者数延200,518人、外来患者数延335,442人、合計535,960人で、前年度と比較すると、11,651人の減となっています。

収支状況については、総収益298億9,903万円に対して、総費用287億6,876万円が11億3,027万円の純利益が生じました。事業収益については、新型コロナウイルス感染症の第7、8波の感染拡大に伴い行った入院時期の調整や病棟休止、救急患者の受入れ制限などにより、相当程度マイナスの影響が出たものの、第1四半期が前年度以上に順調に推移していたことや、中央病院を中心に、急性期充実体制加算、夜間看護補助体制加算等の診療報酬上の新たな施設基準加算を取得したことにより診療単価が増加したことなどから、通年では同程度となりました。事業費用については、新型コロナウイルス感染症対応などによる給与費の増加や物価高騰などに伴う光熱水費、委託料の増加などにより増加しました。

### 4 経営方針と主な取組

令和4年度は、コロナ前の令和元年度の水準と比べて患者数は戻ってきていませんが、医業収益は回復してきています。これは、コロナ禍における患者の受療行動の変容により、相対的に緊急性の低い患者の受診が減るなど、かかりつけ医との機能分化が促され、中央病院を中心に高度医療・先進的医療を必要とする患者への適切な医療提供が行われる流れになってきているためと認識しています。

今後も中央病院の移転新築等に伴う企業債の償還が続くなど、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されますが、中長期的視点に立って、医療器械の計画的かつ戦略的な更新等整備に取り組むとともに、中央病院を中心にかかりつけ医との機能分化を一層図りながら、引き続き経営改善に取り組み、県民から求められる質の高い医療を安定的に提供できるよう努めてまいります。

令和4年度においては、次のようなことに取り組みました。

#### (1) 良質な医療サービスの提供

- ・中央病院において、患者サポートセンターを活用した地域医療連携の更なる充実など、医療サービスの向上に取り組んだ
- ・丸亀病院において、訪問診療の継続に努めた
- ・白鳥病院において、地域包括ケア病床の積極的な運用に努める等、地域の特性に応じた医療サービスの提供に取り組んだ

**(2) 医療人材の確保・育成**

- ・ 医師の確保・育成のため、関連大学との連携強化や研修・研究の充実に努めた
- ・ 医療スタッフの確保・育成のため、ビデオ会議アプリを活用した Web 説明会を実施するなど、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた採用活動を行った
- ・ 勤務環境等の改善・充実のため、医師や看護師の補助者を適正に配置するなど、負担軽減に努めた

**(3) 災害等への対応力の強化**

- ・ 中央病院において、DMAT 隊員の育成・研修を行い、災害急性期の機動的対応能力の強化に努めた
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、各病院が院内の体制を見直し対応した

**(4) 安定的な病院経営の確立**

- ・ 中央病院において、引き続き診療材料の共同購入や後発医薬品の採用により、材料費の適正化及び節減に努めた
- ・ 丸亀病院において、引き続きデイケア、訪問看護の実施により、患者数の確保に努めた
- ・ 白鳥病院において、地域包括ケア病床の積極的な運用により、収益の確保に努めた
- ・ 病院事業管理者や各院長等からなる「経営会議」を四半期に 1 回開催し、経営状況を迅速に把握・分析し、機動的な対応に努めた
- ・ 外部の有識者からなる県立病院経営評価委員会を開催し、経営改善の取組みの進捗状況等への外部評価を実施した

**第3表 令和4年度県立病院事業損益計算書**  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

1	医業収益			
(1)	入院収益	14,810,445		
(2)	外来収益	6,882,015		
(3)	その他医業収益	<u>649,615</u>	22,342,075	
2	医業費用			
(1)	給与費	14,314,866		
(2)	材料費	7,501,251		
(3)	経費	3,711,687		
(4)	減価償却費	1,688,494		
(5)	資産減耗費	31,009		
(6)	研究研修費	92,022		
(7)	長期前払消費税勘定償却 医業損失	<u>90,558</u>	<u>27,429,887</u>	5,087,812
3	医業外収益			
(1)	受取利息・配当金	514		
(2)	他会計補助金	3,479,607		
(3)	他会計負担金	2,832,867		
(4)	長期前受金戻入	888,931		
(5)	その他医業外収益	<u>352,222</u>	7,554,141	
4	医業外費用			
(1)	支払利息及び企業債取扱諸費	241,510		
(2)	雑損失	<u>1,088,450</u>	<u>1,329,960</u>	<u>6,224,181</u>
	経常利益			1,136,369
5	特別利益			
(1)	過年度損益修正益	694		
(2)	その他特別利益	<u>2,114</u>	2,808	
6	特別損失			
(1)	過年度損益修正損	<u>8,911</u>	<u>8,911</u>	<u>6,103</u>
	当年度純利益			1,130,266
	前年度繰越欠損金			<u>2,375,098</u>
	当年度未処理欠損金			<u><u>1,244,832</u></u>

第4表 令和4年度県立病院事業貸借対照表  
(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部

1	固 定 資 産			
(1)	有 形 固 定 資 産			
	イ 土 地		2,608,951	
	ロ 建 物	24,016,042		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△11,565,719</u>	12,450,323	
	ハ 器 械 及 び 備 品	13,529,229		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△9,446,654</u>	4,082,575	
	ニ リ ー ス 資 産	50,418		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△43,639</u>	6,779	
	ホ その他有形固定資産	642,931		
	同 減 価 償 却 累 計 額	<u>△561,745</u>	81,186	
	ヘ 建 設 仮 勘 定		940	
	有 形 固 定 資 産 合 計			19,230,754
(2)	無 形 固 定 資 産			
	イ 電 話 加 入 権		<u>5,035</u>	
	無 形 固 定 資 産 合 計			5,035
(3)	投 資 そ の 他 の 資 産			
	イ 長 期 前 払 消 費 税		<u>1,133,496</u>	
	投 資 そ の 他 の 資 産 合 計			<u>1,133,496</u>
	固 定 資 産 合 計			20,369,285
2	流 動 資 産			
(1)	現 金 及 び 預 金			9,101,555
(2)	未 収 金		3,958,706	
(3)	貸 倒 引 当 金		<u>△30,397</u>	3,928,309
(4)	貯 蔵 品			300,277
(5)	前 払 費 用			1,119
(6)	前 払 金			1,328
(7)	そ の 他 流 動 資 産			<u>16,217</u>
	流 動 資 産 合 計			<u>13,348,805</u>
	資 産 合 計			<u>33,718,090</u>

## 負 債 の 部

### 3 固 定 負 債

#### (1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債

18,284,338

18,284,338

企業債合計

#### (2) 他 会 計 借 入 金

イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

93,638

93,638

他会計借入金合計

#### (3) 引 当 金

イ 退職給付引当金

2,534,999

2,534,999

引当金合計

固定負債合計

20,912,975

### 4 流 動 負 債

#### (1) 企 業 債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債

1,498,230

1,498,230

企業債合計

#### (2) 他 会 計 借 入 金

イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

70,367

70,367

他会計借入金合計

#### (3) 未 払 金

2,532,207

#### (4) 引 当 金

イ 賞与引当金

733,779

ロ 法定福利費引当金

142,415

876,194

引当金合計

#### (5) そ の 他 流 動 負 債

104,564

流動負債合計

5,081,562

### 5 繰 延 収 益

#### (1) 長 期 前 受 金

同 収益化累計額

11,114,614

繰延収益合計

△8,574,305

負債合計

2,540,309

28,534,846

## 資 本 の 部

6	資 本 金		6,178,126
7	剰 余 金		
(1)	資 本 剰 余 金		
	イ 受 贈 財 産 評 価 額	20,600	
	ロ 補 助 金	5,250	
	ハ その他 資 本 剰 余 金	<u>224,100</u>	
	資 本 剰 余 金 合 計		249,950
(2)	利 益 剰 余 金		
	イ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>△1,244,832</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>△1,244,832</u>
	剰 余 金 合 計		<u>△994,882</u>
	資 本 合 計		<u>5,183,244</u>
	負 債 資 本 合 計		<u><u>33,718,090</u></u>